

令和6年度 田底子ども育成会研修会（報告）

日 時 : 令和6年4月26日（金） 19:20～19:40（市子協加入手続き）
19:40～20:15（研修会：講話）

場 所 : 田底地域コミュニティーセンター 和室

参加者 : 田底子ども育成会（田底校区9単位子ども会の連合）
単位子ども会 育成会会長（本日は8人）
熊本市子ども会育成協議会事務局（白石・吉住）

今年度も田底子ども育成会の会合の時間を一部利用して、市子協の研修会（講話）を実施しました。マスクのままで話しにくく、聞き取りにくいという面がありますので、コロナも収束しつつあったのでマスク無しで話させていただきました。講話は令和2年度から5回目となります。単位子ども会の育成会長は前年から引き続きという方もおられますが、今までの内容に、一昨年度、昨年度総会で講演して頂いた関西大学次世代博士研究員田中晶子先生の話の内容の一部と令和5年度に安全共済会補償内容の一部変更が有りましたのでそれも追加し再構成しました。

講話

I, 子ども会活動のあり方
II, 子ども会の企画と運営
III, 令和4年度・5年度総会講演
関西大学次世代博士研究員
田中晶子先生の話から
IV, 安全共済会補償内容の一部変更について

For 田底子ども育成会(2)

熊本市子ども会育成協議会 20240426 KSY

I, 子ども会活動のあり方

子どもによる 子どものための 子ども会活動

Children's association activities of the child ,
by the child , for the child

子どもが主体の活動 2 [失敗してもいいんだよ！
自分でやる事が大切だよ！]

子ども会

子どもたちが 計画
子どもたちの手で 運営
子どもたちが楽しく 参加
子どもたちが仲良く 交流
子どもたちが助け合って 工夫
子どもたちが役割を果たす 責任感
子どもたち自身でやり遂げた 満足感・達成感

できる「こと」から
できる「だけ」

年齢の近い
地域の異年齢集団

多くの体験 視野を広げて 大きく成長

5 子ども会の構成

町内自治会、地域公民館、各種団体
地域の教育活動

子ども会 (広義)

子ども会 (子どもの集団)
子ども会会長
(狭義)

育成会 (養育会)
(大人の集団)
育成会会長

Y.L.ユース・リーダー
J.L.ジュニア・リーダー
チーフ その他
(指導者)

III, 総会「講演」から

1 令和4年度

演題 子どものやる気を引き出すために
大人ができること
— 子ども会の活動を通して —
田中晶子氏
関西大学次世代博士研究員
東海大学非常勤講師

令和4年6月5日（日）

動機づけ理論の「自己決定理論」で重要な
「動機づけを高める3欲求」

- 自分で決めた！ ⇒ 自律性への欲求
- 達成感があった！ ⇒ 有能性への欲求
- 友達と一緒にやった！
大人が見守っていた！ ⇒ 関係性への欲求

2 令和5年度

演題
子どもの「やってみたい!」を
サポートする大人の役割
ー 自己効力感を育み自律を促す活動に向けてー

田中晶子氏
関西大学次世代博士研究員
東海大学非常勤講師
令和5年6月11日(日)

子ども会「やってみたい!」を
サポートする大人の役割
ー 自己効力感を育み自律を促す活動に向けてー

田中晶子
関西大学次世代博士研究員
東海大学非常勤講師

24

行動への鍵になるのは

自己効力感

・・・目標を達成するために必要な行動を
実行できると信じる気持ちや自信のこと

↓「できる!」と信じること

魔法の力に

25

子ども会活動の事例から
(お別れ会)

子ども

- 役割分担⇒ 自立が促される
- 景品を自分たちで決める⇒ ワクワクする
- 自分たちで決めたルールでゲーム
⇒ 成功することで自己効力感UP

身近な大人のサポート

- 日程と大まかな内容を決定
- 景品は5年史と保護者が⇒ 各家庭で
予算内で準備

子ども会活動
(みんなで楽しむ
充実した時間/達成感)

(他の子ども会の活動事例は省略)

26

